

『あそびのタネ通信』VOL. 48 をお届けします。
最後までどうぞ、お付き合いください。

■ INDEX ■

- (1) 講座のお知らせ
- (2) イベントのお知らせ
- (3) 事務局より

◆ (1) 講座のお知らせ ◆

【中国学園大学主催】

中国学園大学では、こどもパートナー認証講座を下記のとおり開催します。

～子どもについて学べる！ ボランティアに行きたくなる！履歴書にも書ける！～

<<岡山会場>>

- 日 時：平成 31 年 3 月 16 日（土）10：20 ～ 15：30
- 会 場：中国学園大学 12 号館（岡山市北区庭瀬 83 番地）

<<福山会場>>

- 日 時：平成 31 年 3 月 17 日（日）10：20 ～ 15：30
- 会 場：福山市ものづくり交流館（福山市西町 1-1-1 エフピコ RIM 7F セミナールーム B）
- 対 象：高校生
- 費 用：無料
- 主 催：中国学園大学こども学部・こども学科
- 協 力：中国学園大学こども・あごら実行委員会

「あそびのタネ展～小学生とイチゴケーキをつくろう！～」

～実際に子どもと関わろう～

- 日 時：平成 31 年 3 月 21 日（木）12：30 ～16：30
- 会 場：サウスヴィレッジ（岡山市南区片岡 2468 番地）

詳細及び問い合わせ先は、下記のファイルをご覧ください。

<http://jactes.or.jp/wp-content/uploads/okayama.pdf>

【NPO 法人東京学芸大こども未来研究所主催】

「こどもパートナー認証講座」

- 日 時：平成 31 年 3 月 19 日（火）9：50～15：50（9:30 受付開始）
- 会 場：Codolabo Studio（東京都小金井市本町 6-5-3 シャトー小金井 109）
- 受講料：8,000 円（単講座受講も可能。その場合 1 講座 2,500 円）

認証料 2,000 円は別途必要

○定員：30名（先着順）

詳細及び問い合わせ先は、下記のファイルをご覧ください。

<http://jactes.or.jp/wp-content/uploads/kodomomirai2019.2.7.pdf>

◆ (2) イベントのお知らせ ◆

東京学芸大学では、以下のようなフォーラムを開催します。

「次世代型教育支援フォーラム」～次世代を拓く連携機構の役割と課題～

○日時：平成31年3月2日（土） 10時～12時

○会場：東京学芸大学一般講義棟W棟（W110）

○主催：東京学芸大学次世代型教育支援システム開発研究連携機構

<スケジュール>

10時～

基調講演「次世代を拓く連携機構の役割と課題」

東京学芸大学副学長 本連携機構長 松田恵示

10時30分～

ディスカッション

「教育支援協働（学）」と「拡張型カリキュラム」を問う

詳細は、以下のURLをご参照ください。

www.u-gakugei.ac.jp/pickup-news/upload/190302_forum.pdf

◆ (3) 事務局より ◆

◆ 平成31年度から2年間限定で、書類審査による「こども支援士」の認証を行います。（告知）

1 書類審査による「こども支援士」認証について

今日、日本社会は学校現場における児童・生徒の多様化・複雑化、教科科目の増、教育現場の多忙化に直面し、また、地域においては都会・地方を問わず、地域力の衰退や人と人との繋がりが希薄となり、誰にも相談できず孤立を深めているお母さん達が増加している中で、地域にある多様な教育資源を発掘し、それらと学校・家庭を繋ぐ役割を果たせる人材が必要とされています。

教育支援人材認証協会が提供している認証の種類は①こどもパートナー（基礎4時間）

②こどもサポーター（発展1：8時間）③こども支援士（発展2：30時間）の3種類です。

特に「こども支援士」は、当協会の認証では最高レベルにあたり、現在は「アフタースクール」と「学校教育支援」の2つの領域があります。

○アフタースクール・・・課外で行われる地域の教育活動に関する支援

各種放課後子どもプラン支援員、各種保育指導員、児童館指導員

○学校教育支援・・・学習指導、児童・生徒指導など学校での教育支援活動全般の支援

各種学習補助員、外国語活動・情報教育サポート、各種支援員

「こども支援士」の認証取得のための講座（30時間）は、受講者が時間的、経済的に限られてしまって

いる実態もあり、当協会は、「こども支援士」の社会的な認知を研究者、教員、保育者や実践家の世界にも積極的に広めていきたいと考え、当協会と連携して活動する「日本子ども支援学会」と協力して、学会に入会を希望する者で、当協会の「こども支援士」の認証を希望する場合、書類審査により、「こども支援士」の資格を付与する制度を新たに設けることとしました。

2 書類審査対象者について

書類審査の対象は、以下の各号のいずれかに該当する者とし、「日本子ども支援学会」の推薦を得た者とします。

- (1)学校教育法第1条に定める学校及び専修学校において10年以上の通算勤務経験を有している者
- (2)児童福祉法第7条に規定する「児童福祉施設」において保育士等として10年以上の通算勤務経験を有している者
- (3)広く社会において教育支援活動に通算で10年以上にわたって関わっている者

3 書類審査による認証の領域について

「こども支援士」の認証は、「こども支援士－アフタースクール」と「こども支援士－学校教育支援」の2タイプです。

更に、書類審査による認証にあたっては、キャリアを土台に認証をするので、「こども支援士」として一本化「アフタースクール＋学校教育支援」の認証を追加します。

4 書類審査による認証

書類審査による認証にあたってはポイント制を導入します。

具体的には、申請者の①職歴ポイント②業績ポイントを加算し、合計で15ポイント以上を認証の基準とします。

なお、職歴は1年1ポイントとし、10ポイント以上（最長13ポイントまで）必要です。

5 その他

○書類審査について

申請された書類の審査は、教育支援人材認証協会が日本子ども支援学会の協力を得て、審査を行います。

○認証料及び更新について

- ・認証料及び更新料は、以下のとおりです。
 - 1) 認証領域が1つの場合 10,000円（アフタースクール 又は 学校教育支援）
 - 2) 認証領域が2つの場合 16,000円（アフタースクール＋学校教育支援）
- ・認証期間は5年間です。（その後は更新が必要です。）

○書類審査のスケジュール及び申請書提出先について

平成31年4月以降、準備ができましたら協会ホームページ等で詳細をお知らせします。

参考：日本子ども支援学会とは

平成29年（2017）に当認証協会と連携する団体として「日本子ども支援学会」が発足しました。

学会の入会資格は、原則として「こども支援士」の認証資格取得者としています。

学会は「こども支援士」認証資格を共有する研究者、教員、保育者及び実践者が同じ立場で子ども支援を語り合える場として学会を機能させていきたいと考えています。

E-mail : info@jactes.or.jp

URL : www.jactes.or.jp

Facebook : <https://www.facebook.com/jactes>
